

4月7日75名の新入生を迎え、252名の体制で令和4年度がスタートしました。10日あまり経過し、その1年生も少しずつ学校生活に慣れ始めたようです。やさしい2、3年生に正しく導かれながら、伝統ある大楠中学校の一員として地域に愛されながら、健全に成長できるよう指導を進めたいと思います。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



本校の学校教育目標は4つの項目からなっています。

1. 自ら学び自ら考え、豊かな知識を求める生徒の育成
2. 他人を思いやり、正しく判断し自律的に行動する生徒の育成
3. たくましい体力と気力を持ち、粘り強くやり抜く生徒の育成
4. 勤労を尊び、協力して実践活動のできる生徒の育成

自ら考え、正しい判断をし、その正しい判断に従って行動のできる自律心（自らを律することのできる力）を持った生徒の育成ということになります。

中学校生活3年間の発達段階を考え、いつ身につけるべきかに分類するならば、1年生では「自らしっかり考える」ということ、2年生では「自ら考えて正しい答えを導き出す」ということ、そして3年生では、「その正しい判断に従って正しい行動ができる」ということになると思います。それぞれの学年で学校教育目標達成のために具体的な教育活動を計画し、展開していきます。まずはそのための第一歩として、<自己有用感><自己肯定感>の醸成を意識した教育活動を進めてまいります。

本校ホームページブログにて学校の様子、校長はじめ教職員の思いなどを定期的に綴っていますので、そちらを定期的に学校だよりに転用いたします。

【はじめまして】4月1日のブログより



4月1日をもちまして、伝統ある大楠中学校に学校長として着任した平井慶一郎（ひらい けいいちろう）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日朝7：00頃でしょうか。初めての出勤に緊張感を覚えながら正門を通過しました。ふと門の右側を見るとき綺麗な花壇が…。さらに進むと昇降口入口にもプランターに整備されたきれいな花々が目に留まります。この学校は学校環境の美化に力を入れているんだなと感じました。職員室で先生方に聞いてみると、年度末に生徒会事務局やボランティア生徒による「落書き消し隊」なる組織がPTAの皆さんと連携して作業をしていると聞きました。「なんてすばらしい学校なんだ！」直感的にそう思いました。

生徒会の人たちや、ボランティアに参加した人たち、あるいは継続的に花のお世話をする人たちは、きっと「大楠中学校のために」、「新入生のために」という誰かのために何かを行うことで、大楠中学校の一員なんだという『自己有用感』を持つでしょう。この自己有用感が積み重なり『自己肯定感』がはぐくまれていきます。私の教師としての理念はまさにここに 있습니다。これから折に触れて生徒の皆さんにはお話をしていきます。

今年度の大楠中学校では、様々な活動でこの「自己有用感」「自己肯定感」を醸成していきます。4月7日より新年度がスタートします。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。